

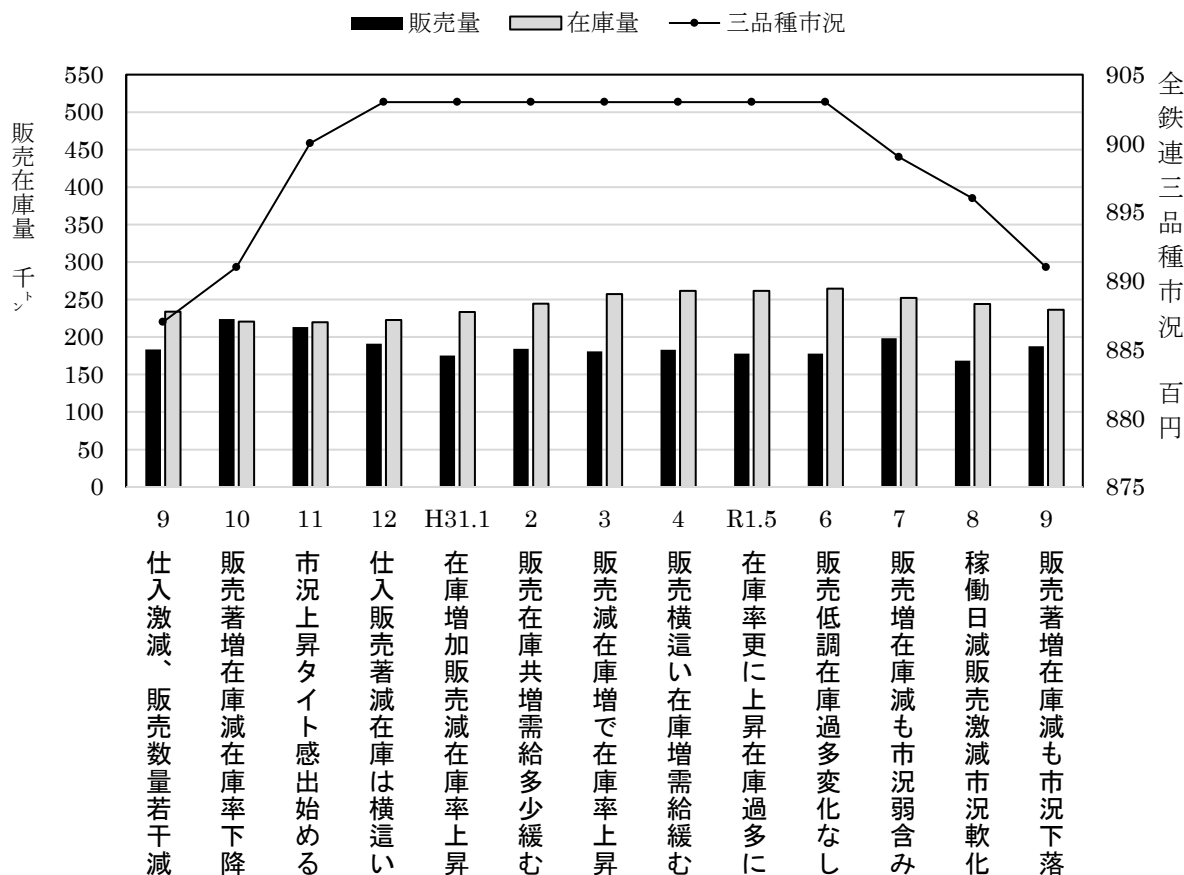
<総計欄> 9月の仕入量は180,046トン前月比+12.2%、前年同月比+5.5%、販売量は187,664トン前月比+11.3%、前年同月比+2.3%。仕入、販売とも前月比著増、前年同月比では共に増加しました。在庫量は236,291トン前月比-3.1%、前年同月比+1.0%、在庫は前月比減少、前年同月比では増加しました。在庫率は125.9ポイントと先月より下降しました。今年に入り初めて販売量が前年を上回りましたが、これは8月稼働日数が少なく大きく落ち込んだ分、9月の販売量が著しく増加したもののと思われます。

2019年度第2四半期は、仕入量526,289トン、前期比-3.7%減、前年同期比-5.2%。販売量は554,692トン、前期比+3.0%、前年同期比-3.6%でした。昨年より需要は悪化しており、市況は弱含んでいます。

<販売欄> 品種別では異形棒鋼7.7%増加、東京3.7%増加、大阪12.5%著増、愛知は27.0%著増しています。H形鋼は19.9%著増、東京22.3%著増、大阪20.9%著増、愛知14.7%著増となっています。その他品種では山形鋼6.6%増加、溝形鋼17.5%著増、コラム4.4%減少、C形鋼5.9%増加しています。

<在庫欄> 品種別では異形棒鋼0.5%微減、東京4.0%増加、大阪12.6%著減、愛知0.2%微増しています。H形鋼は5.3%減少、東京4.9%減少、大阪4.7%減少、愛知6.9%減少しています。その他品種は山形鋼2.2%減少、溝形鋼0.5%微減、コラム0.7%微増、C形鋼8.4%減少となっています。

過去13ヶ月間の3指標の推移



仕入激減、販売数量若干減
 販売著増在庫減在庫率下降
 市況上昇タイト感出始める
 仕入販売著減在庫は横這い
 在庫増加販売減在庫率上昇
 販売在庫共増需給多少緩む
 販売減在庫増で在庫率上昇
 販売横這い在庫増需給緩む
 在庫率更に上昇在庫過多に
 販売低調在庫過多変化なし
 販売増在庫減も市況弱含み
 稼働日減販売激減市況軟化
 販売著増在庫減も市況下落